



ずっくま！

みんなでつくる ずっといいまち くまとりちゅうがっこう

第1号 2026.5.13

ESDとは…

Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育) の略語。
さまざまな現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、将来にわたって持続可能な社会の実現をめざす、「持続可能な社会」の創り手を育む教育のことです。

はじめての「ESD通信」です！

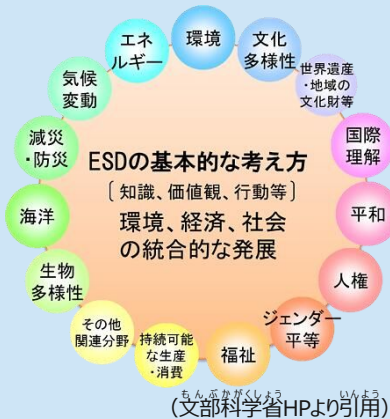
みなさん、初めまして。今年度、ESD推進を担当することになりました。
2・3年生のみなさんはよく知ってくれていることと思いますが、熊取中学校は、「ユネスコスクール」の認定を受けており、ESDの推進をととても大切にしている学校です。各学年や生徒会など、さまざまな場面で、熊取中学校のみなさんがとっても素敵にとりくみを行っていますので、この「ずっくま！」では、そんな熊取中学校のESDのとりにくみをたくさん紹介したいと考えています。生徒の皆さんや保護者の方に向けて情報発信をするべく、年に数回、不定期で発行しますので、どうぞ楽しみにしててくださいね。

「ユネスコスクール」って？

1年生の皆さんには、まだあまり聞きなじみのない言葉かもしれませんね。
国際連合の機関であるUNESCO（国連教育科学文化機関）がかかげた、平和を願う教育の理念を学校現場で実践するためにできたASPnet (Associated Schools Network)への加盟が承認された学校のことを、日本では「ユネスコスクール」と呼んでいます。ASPnetは、現在、世界167か国で約10,000校が加盟する世界最大規模の学校ネットワークとなっています。日本国内でも、1065校の幼保小中高校、大学が加盟しています（2026年3月時点）。

熊取中学校では、校長先生のお話やお便りにもあったように、「つながり」を大切にして、「心の中に平和の砦を築く」ことを学校教育目標にしています。
外国で起きている戦争や、地球規模の環境問題などは、みなさんからすると、自分とはあまり関係のない遠く離れた話に感じられてしまうかもしれませんが、実はそうではないかもしれません。平和や環境、私たちが生きる世界のことを考えるのは、あなたが今いる教室のことや、近くにいる誰かのことを考えることと、深くつながっているのではないかと思います。熊取中学校で過ごす学校生活の中でさまざまな学びや取り組みを重ね、みなさんにもそんなことをぜひ考えてみてほしいと感じています。

「つながり」を大切にした中学校3年間の生活を通して、一人ひとりの心の中に「平和の砦」を築いていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



【ESD関連用語の紹介】

SDGs (エス・ディー・ジーズ)
(Sustainable Development Goals)

=「持続可能な開発目標」。

2015年の国連サミットで採択された、2030年までに達成をめざす世界共通の開発目標。貧困や気候変動など、地球規模の課題を「誰一人取り残さない」かたちで解決することをめざしています。

